



“心豊かに  
笑顔あふれる”

青森県  
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.  
116

令和2年2月19日

## 「夢を語り合い、考えを深め合う」ワークショップ

### ～大学生とカタル！キャリアサポート形成事業～

自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するために、当センターでは、大学生が高校生の将来をともに考えるワークショップ「大学生とカタル！キャリアサポート形成事業」（通称「キャリアサポ」）を実施しています。平成30年度からは、中学生を対象にした「Jr. キャリアサポ」も始まりました。

ワークショップでは、中学生、高校生が4～5人のグループを作り、大学生と車座になって自分の夢や将来について真剣に語り合います。また、大学生の体験談「カタル」を聞くことで、自らの考えを深めます。そして、参加した中学生、高校生は、このような活動を通して夢の実現へ向けての目標を設定したり、日常生活、学校生活での悩みを解決する糸口を見つけたりしていきます。

この事業に参加する大学生は、研修で学んだ「心を開く円滑な人間関係づくり」を実践し、「大学生同士が交流」しながら主体的に準備を進めます。そして、ワークショップでの「中学生、高校生との語り合い」を通して、大学生もコミュニケーションやファシリテーションの能力を向上させることができます。

今年度は、県内の高等学校21校と中学校2校（東青地区1校、中南地区1校）の計23校で、「キャリアサポ」及び「Jr. キャリアサポ」を実施中です。

ワークショップに参加した中学生、高校生、大学生の感想を紹介します。



ワークショップの様子

#### ○中学生の感想

「大学生とコミュニケーションをとれたことが、自信になりました。」

「今まであまり人に言えなかった自分の夢を大学生に語ることができました。本当に楽しかったです。」

#### ○高校生の感想

「大学生の体験談を聞いて、今の自分の悩みに通じる部分があり、背中を押してもらったと感じました。」

「自分の将来の夢に向かって努力したいと感じました。夢をあきらめたくないと思いました。」

「今まで、進路について深く考えていませんでしたが、自分の進路を見つめ直す良い機会になりました。」

#### ○大学生の感想

「高校生と将来について考えていく中で、自分の将来についても見直すことができました。」

「大学生の自分の経験を伝えることが高校生の将来のためになるという喜びを感じました。」

「キャリアサポの活動を通して、成長することができました。これからも活動を続けていきたいです。」

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修講座です。ここでは今年度実施した各研修講座のねらいやテーマを紹介します。

### 1.【社会教育主事等専門研修】

ねらい：社会教育主事の果たすべき役割等について学び、社会教育主事としてのスキルアップを図る。  
内容：「地域学校協働活動における社会教育主事の役割」をテーマに、「地域学校協働活動」をどう周知し、展開していけばいいのかについて。

### 2.【新任職員研修】

ねらい：職員の資質向上のため業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、担当間のネットワークづくりを進める。  
(前期)前半は「社会教育行政が担う役割」をテーマに、「インサイドアウトの姿勢」や「人とのつながりの大切さ」について。後半は、演習や名刺交換を通じ、職員同士のネットワークづくり。  
(後期)『地域づくり』は『人づくり』をテーマに、「いかにして地域力を高めるか」や「地域力を継続していくためには」について。

### 3.【センター研修】

ねらい：関係職員等の資質向上のため、企画力向上と専門的な技術習得。  
(分野①社会教育・生涯学習) …… 「事業計画と評価・改善について」  
(分野②情報教育) …… 「パワーポイントを使ったチラシづくりの実践」  
「企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック」  
(分野③地域活動) …… 「地域に根ざした魅力的な講座をつくるために」  
(分野④青少年教育) …… 「若者が参加しやすい事業周知の在り方」

### 4.【地区研修】

ねらい：青森県内6地区を会場とし、各地区の地域課題の把握に努め、ネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成。  
(東青)「これからの地域づくりに求められること」  
(中南)「住民主体のまちづくり」  
(西北)「地域の課題解決に挑み、地域再生・地域活性化の実現に向けて」  
(上北)「貧困問題と子ども支援」  
(下北)「企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック」 } 同講師による  
(三八)「企画者の想いが伝わるチラシづくりのテクニック」 } 同テーマ



研修の様子

※全講座を通じ、どの研修講座もみなさん熱心に目的意識を明確にもって受講して下さいました。本研修講座で学んだことが、今後の業務や地域での活動実践に役立つことを願っています。

今後も当センターでは、業務に直結し実践的な知識・技能の習得につながる研修の機会を提供して参りますので、御案内の際には是非お申し込み下さい。  
→今年度の各研修講座内容について、詳しくは当センターのホームページ「終了事業アーカイブ」を御覧ください。

アーカイブはこちらから⇒



## ホームページをご活用ください！

当センターでは、ホームページを介して皆様に学習情報等を提供しています。

#### (1)センターホームページ

センター主催事業の情報や、研究紀要、所報など発行物のバックナンバーを掲載しています。



#### (2)ありすネット

県内各地の講習会等学びに関する情報や、視聴覚ライブラリーで借りられる教材の検索など、県民の生涯学習を支援する情報を提供しています。



#### (3)eラーニングサイト

- ・あおもり学インターネット講座
- ・元気青森人 PowerUp コンテンツ
- ・あおもり子育てネット

郷土に関する視聴覚教材や講座等の動画、就労・職業に関する動画や、子育てに関する情報を掲載しています。

#### < Pick up ! >

#### あおもり子育てネット

家庭教育に関するメール相談の受付のほか、子育てに関する情報や動画を web 上で公開しています。

今年度は新たに7本の動画を作成し、公開しています。ぜひご覧ください。

※右記二次元コードより、今年度作成の「子どもの肥満は3歳までが大事～子どもが将来健康で暮らせるために～」をご覧いただけます。

ほか、Facebookでも、センターについての様々な情報発信を行っています。



青森県総合社会教育センター

検索

ぜひご活用ください！

# 子育て応援してみませんか 家庭教育応援隊養成講座

近年、核家族化により身近な人から子育てを学ぶ機会の減少や、都市化による地域とのつながりの変化など、家庭教育を支える環境が大きく変化し、「家庭教育が困難な社会」であるとも言われます。

青森県総合社会教育センターでは、地域全体で家庭教育を支援する体制を整備するため、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成する事業の一環として「家庭教育応援隊養成講座」を開催しています。本講座を規定回数受講し修了した方は、「あおり家庭教育アドバイザー」として申請登録することができます。

今年度は、上北地区と下北地区を対象に、6月から12月まで月1回のペースで、計7回ずつの講義・演習を行ってきました。

学ぶ内容は、主に「家庭教育支援」、「あおり親楽プログラム」、「子育てサロン」の3つです。

「家庭教育支援」では、主として講義形式で「家庭教育の支援者としての役割や心構え」、「傾聴について」、「気になる子どもの理解と対応」等を学びます。

「あおり親楽プログラム」は、青森県教育委員会作成の学習プログラム集です。「あおり家庭教育アドバイザー」が、よくあるエピソードを題材としたこのプログラムをもとに、親が親自身の役割やあり方等を考えるための講座を進行できるようになっています。受講者はプログラムの受講体験とともに、運営者としての模擬体験もしながら、講座運営の仕方を学びます。



実践「子育てサロン」の様子から



講義・演習の様子から

「子育てサロン」では、その社会的意義や運営する上での心構えを学び、実際にサロンを計画・運営します。そこには、本物(!)の親子が集まるのですから、運営側の緊張感たるや並大抵ではありません。これまでの学んだことを活かし、親子に楽しい時間を提供する実践を通じて更に深い学びとなります。

修了者には、「あおり家庭教育アドバイザー」として、各地域であおり親楽プログラムを使った研修会等の進行役をしたり、子育てサロンを運営したりと、様々な形での家庭教育支援の実践が期待されています。

本講座における詳細については、当センターホームページ「終了事業アーカイブ」内で紹介していますので、是非御覧下さい。また、平成30年度は東青・三八地区で開催し、令和2年度は、西北地区・中南地区で本講座を行う予定です。

アーカイブはこちら》》》



最終回受講の皆さんで、記念写真をパチリ。  
(左 上北会場、右 下北会場)

VOL. 8  
平内町

## 魅力ある講座の実践紹介！

## 「ひらないカレッジ」開講中！

今回は、毎回魅力的な講座を開催している「ひらないカレッジ」などの事業を展開している平内町中央公民館の取組について、公民館事業を担当する平内町教育委員会生涯学習課主任 辻村歩未さんにお話を伺ってきました。



## 学びの機会と住民同士の交流を目指して

平内町中央公民館は国道4号沿いにあり、武道館や町立体育館が隣接しています。普段は、町内のサークルをはじめ多くの町民の方が訪れて活動しています。

今回お伝えする「ひらないカレッジ」は、前身の「いきいきセミナー」から数えて今年度で20年目、「ひらないカレッジ」としては15年目の活動となります。町民のみなさんが、趣味や生きがいをもって充実した生活を送るための学びの機会と住民同士の交流の機会となるよう、毎回様々なテーマを設けています。令和元年度は、6月12日の開講式から3月5日の閉講式まで全13講座を開催し、延べ500人の町民が参加しています。講座内容は参加者のアンケートや要望などを取り入れており、町外の講師を招いた講座から町内で活動するサークルや町職員が講師となる講座も開催しています。また、町外に出向く講座を年1回開催し参加者からは好評を得ており、今年度は平内町の天然記念物である椿山の椿から抽出した酵母を開発した八戸工業高等専門学校に出向き、取組を学んできました。

「ひらないカレッジ」の特徴は、男性の参加が他事業より多く、ここ3年間は登録者の2割前後が男性となっていることです。また、講座内容を毎年更新することで参加者が飽きない仕組みとなっており、昨年度はリピーターだけではなく、新規受講者も増え受講者の平均年齢も若返りました。毎年講座を更新するためには情報収集は欠かすことができず、住民からの口コミ情報や他市町村との情報交換を大切に、アンテナを張るように心がけています。



## こんな講座をやっています

「ひらないカレッジ」は、「いきいきコース」（全13講座）、町内外でのウォーキングなどを行う「すこやかコース」、その時々話題や課題をタイムリーに捉えて開催する「まなびコース」に分かれています。

「いきいきコース」の中で、大学の先生をお招きした「身体の不調を取り除く！～家庭でできるリンパドレナージュ～」では、興味のある方から知らないけどやってみようという意欲ある方まで多くの方が参加しました。

また、昨年度開催した「まなびコース」では、イラストレーターの mizutama さんを講師に「簡単かわいいイラスト教室」を開催して、大人だけではなく小学生も参加し、白鳥をテーマに楽しくイラストの勉強をしました。好評だったので、今年度の「まなびコース」では「水引と和紙でつくる祝い袋ワークショップ」を開催します。



## 担当者の願い

「ひらないカレッジ」の活動をきっかけに、参加者が主体となって次の活動に繋がる行動が起ってほしいと思っています。過去にはカレッジで集まったことをきっかけに、ス Copp 三味線のサークルが立ち上がったことがありました。町民の方々が興味を持って参加し、自分たちでもやってみようと思えるような講座づくりをしていきたいと思っています。



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。